

<ニュースリリース>

野菜摂取量推定機「ベジチェック®」の開発成果が 2021年度 飯島藤十郎食品技術賞を受賞

カゴメ株式会社（代表取締役社長：山口 聡 本社：愛知県名古屋市）が開発した野菜摂取量を簡単に推定することができる仕組み「ベジチェック®」が、2021年度 飯島藤十郎食品技術賞を受賞いたしました。

本賞は、公益社団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団^{※1}が、食品科学に関する研究や技術開発に優れた業績が認められる研究者又は研究グループを表彰するものです。受賞対象となった研究・技術開発は、「皮膚カロテノイドを測定することで野菜摂取量を非侵襲的に容易に推定する装置（ベジチェック®）の開発と実装」であり、不足しがちな野菜の摂取量^{※2}を簡便に測定することで野菜摂取を促す機会を提供できる仕組みを開発し社会実装につなげた成果、ならびにその背景にあるカロテノイド^{※3}に関する研究が高く評価されました。

なお、本賞の贈呈式は、2022年4月18日に山崎製パン総合クリエイションセンターにて開催されました。

「ベジチェック®」について

本装置は、皮膚のカロテノイド量を光学的に測定することで、およその野菜摂取量を推定することを可能にしたものです。LED を搭載したセンサーに手のひらを当て、数十秒で測定が完了することから、利用者がその場で結果を見ることができる簡便さが特徴であり、企業や自治体の健康増進支援ツールとしてご活用いただいています。

参考：https://www.kagome.co.jp/library/company/news/2019/img/190625_0700902.pdf



左：ベジチェック®測定風景 右：ベジチェック®測定結果画面

※1:公益社団法人飯島藤十郎記念食品振興財団(<http://www.ijima-kinenzaidan.or.jp/index.html>)

財団法人食品科学振興財団は、山崎製パン株式会社創業者飯島藤十郎社主が主たる基本財産を出資し、1984年に農林水産大臣の許可を得て発足したものであり、食品科学等に関する研究等の推進を通じて、食生活・食文化の向上、健康の増進及び食品産業の発展に寄与することを目的としています。財団が行う事業の一つに、「米麦その他の主要食糧等を原料とする食品の生産・加工・流通及び食品科学等に関する研究又は技術開発に優れた業績が認められる研究者又は研究グループの表彰」があり、飯島藤十郎食品技術賞は、当該研究分野に関し、食品の技術開発において優れた業績をあげた研究者又は研究グループに授与されるものです。

※2:「厚生労働省 健康日本 21」が推奨する1日の野菜摂取目標量は350g。平成22年～令和元年国民健康・栄養調査(厚生労働省)での日本の1人当たりの平均野菜摂取量は約290g。

※3:カロテノイド

野菜(特に緑黄色野菜)や果実に広く含まれる、赤～橙～黄色の色素。にんじん等の緑黄色野菜に豊富なβ-カロテンやルテイン、トマト・スイカの赤い色素であるリコピン、温州ミカンのβ-クリプトキサンチンなどがその代表です。摂取することで体内に吸収され、皮膚にも蓄積することがわかっています。総じて強い抗酸化作用(一重項酸素消去作用)を有することから、その積極的な摂取による健康効果が期待されています。また、カロテノイドの一部(β-カロテンやα-カロテン、β-クリプトキサンチン等)には、体内に吸収された後にビタミンAに変換されるプロビタミンAとしての役割を介して健康に寄与するものもあります。

【サービスに関するお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 健康事業部

TEL:03-5623-8501(代表)

E-mail: kagome.happy-wellness@kagome.co.jp

【報道機関の皆様むけのお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 北川

TEL:03-5623-8503